

鶴岡ロータリークラブ会報

840

1976-1-27 No.31

鶴岡ロータリークラブ 創立 昭34.6.9 承認 昭34.6.27 353地区
例会場 鶴岡市本町二丁目 ひさごや
例会日 毎週火曜日 午後 12.30～1.30
事務局 鶴岡市馬場町 鶴岡商工会議所内 電 0235 (22) 5775
会長 佐藤 忠 幹事 吉野 敏

◆ 点 鐘

◆ ロータリーソング (手に手つないで)

◆ ビジターゲスト紹介

◆ 会長報告

台中表敬訪問メンバー18名決定
2月3日例会終了後結団式挙行

◆ 幹事報告

- 遊佐RC 2月3日を2月4日節分例会に変更 吹浦 海弾寺
- 鶴岡西RC 創立10周年記念式典 5月28日 善宝寺 登録料 5,000円
- 立川RC 認証状伝達式 5月2日 13時30分
立川町コミュニティーセンター 登録料 8,000円

○ 推せん新会員名発表

神部 行雄 君 (東北電力鶴岡営業所長)
中村 宮昭 君 (東北電気工事鶴岡営業所長)

◆ 委員長スピーチ 雑誌委員会 三浦悌三君 (後述)

◆ 委員会報告

- 親睦委員会より
三井 徹君 団長の大役はたし無事帰国
富樫良吉君 上水道工事 (13,200万円にて) 落札
- 会員増強委員会より
2名の推せんがありましたが一層の協力を

◆ 出席報告

◆ 点 鐘

TO DIGNIFY THE HUMAN BEING 人間に威信を!

委員長スピーチ

雑誌週間にちなんで

三浦 悌三 君

雑誌週間は雑誌委員会に与えられた使命の一つです。大変不馴れでお聞き苦しい点多々あると存じますがよろしく願い申し上げます。私の職業柄数字が多く出て参りますが御容赦願って置きます。

※尚此の資料は総べて“雑誌委員会、雑誌週間資料”を参考としました。

1. 雑誌週間の目的

雑誌週間はロータリアン誌の発刊を記念してR Iが決めた記念行事の週間と思います。その目的は、1 地域機関誌ではなく公式機関誌である。THE ROTALIAN (英文)及びREVISTA ROTALA (スペイン語)に対する会員の認識を深めることにあると雑誌週間資料に書いてあります。

1975年5月現在に於ける日本での購読部数は約8400部で、会員数6万8千に対して12%となつて居ます。又日本での1クラブ単純平均は7冊となつて居ます。

此の週間はTHE ROTALIAN誌に対するPRが目的ですので、尚一層の御購読をお願い致しておきます。

尚当クラブに於ける購読数は、会員9名その他ローターアクト・インターアクト3計12冊となつて居り会員に対する比率は約13%です。

2. ロータリー公式機関誌

先に申しました通りロータリーには公式機関誌があります。THE ROTARIAN とREVISTA ROTARIA です。使用言語は英語とスペイン語ですが、発行国は何れもアメリカとなつて居ます。発行部数はTHE ROTARIANが約47万部REVISTA ROTARIAが約10分の1の4万3千部計51万3千部で英語版が全体の92%を占めて居ります。

2-1 公式機関誌の内容

雑誌週間資料によるとTHE ROTARIANは国際ロータリーの公式機関誌として、ロータリークラブの存在する各国クラブの活動状況、R I 役員の活動状況等を紹介すると共に各国の政治、経済、社会科学等の分野に於ける代表的人物の時代に適応した論文を掲載して居ります。詳細は実物をお読み下さい。

2-2 THE ROTARIANの歴史

ロータリークラブの設立は1905年(M38)で当時は此の様な公式機関誌は無く、約6年後の1911年(M44)に初代R I事務局長チェス・バリーによって創刊されました。当初はタブロイド版11頁の新聞だったそうですが、現在はA 4版48頁の体裁をとつて居ます。

1975年(S50)5月現在でロータリーの所在国151非所在国7 計158ヶ国に配布されています。購読部数51万3千部中各国の購読数及びその割合は概略次の通りです。

第1位	アメリカ	36万2千	70%
第2位	カナダ	2万5千	5%
第3位	オーストラリア	2万3千5百	4.6%

以上3ヶ国が全体の約80%を占めて居り日本に於ける購読部数は8千4百で全購読部数に対して1.6%となつて居ります。

3. ロータリーの地域機関誌

公式機関誌ではありませんが、R Iの承認の下に地区ガバナーの責任に於て日本を含む22ヶ国で地域機関誌が発行されて居ります。公式機関誌を含めて、昭和50年6月現在総発行部数は約75万7千部となつて居ります。

次に機関誌での使用言語を調べてみると

第1位	英語	8種	32%
第2位	スペイン語	5種	20%
第3位	フランス語	3種	12%

日本の地域機関誌“ロータリーの友”では日本語版を月刊で英語版を年4回発行して居ります。

発行部数の多いのは

第1位	ノルウェー	5ヶ国語	ノルウェー語 スウェーデン語 デンマーク語 フィンランド語 アイスランド語
第2位	スイス	3ヶ国語	ドイツ語 フランス語 イタリア語
第2位	エジプト	3ヶ国語	アラビア語 イギリス語 フランス語

発行部数では

第1位	アメリカ
第2位	イギリス
第3位	ノルウェー の順になっています。

尚現在アメリカでは公式機関誌以外の地域機関誌は発行されて居りません。

4. 日本の地域機関誌“ロータリーの友”について

ロータリーの公式機関誌ではありませんが、日本でもRIの承認を受け地区ガバナーの責任に於て地域機関誌が発刊されて居ります。

日本にロータリークラブが設立されたのは1920年(T9)、公式機関誌が発刊されたのは1911年(M44)ですのでそれから相当遅れて1953年(S28)1月に発刊されました。その目的は広い意味でのロータリーインフォメーションの普及となっています。発刊当初3,300部であったものが、現在では月平均73,800部、1冊200円ですので1ヶ月の売上げは14,760,000円となって居ります。

4-1 “友”の編集方針

日本のロータリークラブ21地区の地域雑誌として国内のロータリークラブ及び会員の活動状況の紹介と相互の親睦をはかり、又内外のロータリー情報を掲載することによってロータリー精神の普及とロータリー活動の発展の一助となる様編集されて居ります。

4-2 “友”の記事内容

“友”については、月刊誌として毎月皆さんのお手許に届いて居りますので詳細な説明は必要ありませんが、主要記事を分類してみますと

- (1) 巻頭記事……ロータリー情報を目的とするロータリー記事に即した解説・対談・座談会記事
 - (2) ロータリアン誌予告……公式機関誌記事の同時掲載
 - (3) ロータリアン誌要約……公式機関誌より主要記事の掲載
 - (4) ロータリー問答・用語解説……ロータリー情報に関する質疑応答
- その他“巻頭論文”“友愛の広場”“卓話の泉”等があります。

4-3 ロータリーの友雑論

硬い話ばかりでは面白くありませんので“友”の裏側を少々のぞいてみたいと思います。

(1) 月間発行部数

50年7月～12月まで6ヶ月間の発行部数は439,800部、月平均73,800部となって居ます。

(2) 単価の変化

S28年1月～S28年12月	(期間1年)	50円
S29年1月～S37年12月	(期間9年)	100円
S38年1月～S49年12月	(期間12年)	110円
S50年1月～		200円

当初の発行部数に比べ部数で約22倍、単価で4倍になっていることが判ります。

(3) “友”の広告料

“友”には多くの広告の頁がありますが、此の広告料を頭に入れて此の頁を見るのも面

白いと思いましたが調べてみました。

表紙	(オフセット4色)	1頁	400,000	
本文	(オフセット4色)	1頁	350,000	
グラビア		1頁	150,000	
本文記事		1頁	100,000	
		1/2頁	52,000	1/2頁 35,000

となって居ます。

1975年11月号に於ける広告代金は

400千円	× 2	= 800
350	× 6	= 210
150	× 5	= 750
100	× 3	= 300
52	× 6	= 312
35	× 3	= 105
その他計		2,500,000

5. 雑誌及び雑誌週間についての質疑応答

手許にある雑誌委員会・雑誌週間参考資料の巻末に二、三の興味ある質疑応答記事がありましたので紹介しておきます。

Q: 雑誌委員会が会報委員会と兼務しているクラブが数多くあると聞かすが、どの様な活動をしているか。

A: 昭和49年2月調査した雑誌と会報兼務クラブは次の通りである。(当時20地区)
調査対象は8地区507RC(全体の40%)中83RC(60%)が兼務していた。
兼務の理由は会報委員会が細則に明文化されていないので同じ様な性格を持った両委員会を一緒にしたものと思う。

Q: 雑誌週間はロータリアン誌創刊(1911年1月)を記念してそれをP・Rする様にR・Iが決めた週間と思うが、この週間が“友”のP・R週間である様な印象を受けるが、その理由は、

A: “友”はロータリアン誌と共に、ロータリー情報を充分果していると信じている。日本で“友”は約7万、ロータリアン誌は約8千、そこでこの週間は“友”の週間とも云えよう。“友”をP・Rすることはロータリー情報上より効果的と云える。然しながらロータリアン誌についても忘れてはならない。

Q: THE ROTARIANの日本語版を発行しないか。

A: ○THE ROTARIANは日本で約8千部売れている。日本語版が出来た場合、英語版の売れ行きが危ぶまれる。
○米国の記事が主体の此の雑誌が日本で歓迎されるかどうか。
○日本語版を出すともう一度著作権問題が生ずる。
○THE ROTARIANの日本語版が出来た場合“友”と販売競争になる。
○その他会員の皆さんはこの質疑応答について如何お考えでしょうか。

出席報告

本出日	会 員 数	70名	欠 席 者	五十嵐(伊)君、黒谷君、三井(健)君、齋藤(信)君、佐藤(衛)君、鷺田(幸)君、山本君、新穂君、菅原(啓)君、清水君、高橋(正)君、高橋(良)君、佐藤(宇)君、津田君、鷺田(克)君
の席	出 席 数	55名		
	出 席 率	78.57%		
前回	前回出席率	70.00%	メア	風間君一東京南RC 笹原君一仙台RC 阿部(公)、安藤君
の席	修正出席数	63名	1ッ	五十嵐(伊)君、玉城君、今野君、三井(徹)君、森田君、佐藤(衛)君、菅原(啓)君、鈴木(弥)君、横山君、半田君一鶴岡西RC
	確定出席率	90.00%	ク	
ビジター	和嶋茂男君一酒田東RC		加藤 広君	} 鶴岡西RC
	菅原鉄三郎君一温海RC		阿部正男君	
	池田好雄君一立川RC		阿宗健一郎君	